

巻頭言……………瀬戸康雄

総合報告

科学捜査のための光を利用した分析技術の動向……………西脇芳典

解説

テラヘルツ光を用いた遮蔽物内薬物の分光イメージング……………村手宏輔ほか

パルスレーザーを用いた文書改ざんの検出……………鈴木基嗣

分光分析およびX線CTによる偽造医薬品の識別……………吉田直子

ハイパースペクトルイメージングによる指紋の可視化……………中村 厚

光学ハイライト

気になる論文コーナー

今後の特集予定

- 51巻10号「物質最表面を探索する分光技術」
- 51巻11号「ポイント・オブ・ケア検査のための光学技術」
- 51巻12号「データサイエンスで社会課題に応える光計測」
- 52巻 1号「プロジェクターによって拡張される実世界」
- 52巻 2号「擾乱環境下でのイメージング」

// 編集後記 //

今月号では、「精密光学素子によるX線イメージング」というタイトルで特集企画を編集いたしました。編集委員の任期などの関係で、おおよそ3年に1度の頻度でX線関係の特集が組まれるのですが、前回の2018年10月号は「X線自由電子レーザー」、前々回の2016年9月号は「宇宙、惑星の起源を探索するX線光学」、さらに前には2013年6月号で「X線顕微鏡の今と未来」と、大きいところから小さいところまですでに取り上げられていることもあり、「光学」の記事として、どんな内容であれば読者の方に面白く思ってもらえるかという悩みました。ちょうど日本光学会にX線・EUV結像光学研究グループが立ち上がったこともあり、その特集がよいことも考えましたが、そちらはタイムリーなほうがよいとのことで、昨年度すでに「光学ハイライト」で取り上げてもらいました。

その後、委員長やほかの委員の方との議論を通して、ガチガチの光学素子技術に関してであればX線光学に限らない多方面の方に興味をもってもらえるのではとの意見もいただき、今回のような執筆陣の先生方になっております。X線光学の関係者の方々はもちろんですが、分野を問わない多くの「光学」読者の方のご参考にもなれば幸いです。

最後にになりましたが、企画を検討するにあたって上記のようなご助言のみならず、企画案の文面まで細かくコメントいただいた編集委員会、編集局の皆さまに御礼申し上げます。(木村, 徐)

原著論文を募集しています

「光学」では、日本語の原著論文を募集しています。会員・非会員を問わず、自由に投稿できます。皆様の意欲的なご投稿をお待ちしております。

また、上記に加え、特集テーマに関連のある原著論文も募集しています。この場合、採択となった論文はその特集号に合わせて掲載できるよう、査読作業をより迅速化いたします。特集テーマ関連の投稿締切は、当該特集号発行月の4か月前の10日です。特集号を明記のうえご投稿ください。

日本光学会ホームページ <http://myOSJ.or.jp/>

光 学 2022 ©

第51巻 第8号 <月刊>

2022年8月10日 発行

定価 1,500円 (送料実費)

発行/ 一般社団法人 日本光学会

〒173-0004 東京都板橋区板橋 2-65-6

板橋区情報処理センター 5階

E-mail: [info@myOSJ.or.jp](mailto:info@myOSJ.or.jp)

印刷/ 大昭和印刷株式会社

「光 学」編集委員会

山本 裕紹*	芦原 聡**	秋葉 教充	白井 文昭
江川麻里子	小関 泰之	小野 雅司	木村 隆志
金高 健二†	黒坂 剛孝	小泉 直也	斎藤 真司
齋藤 直洋	酒井 大輔	下垣 哲也	庄司 暁
杉田 篤史	鈴木 良政	瀬谷 安弘	田上 周路
田代 知範	玉田 洋介	張 開鋒	辻野 賢治†
寺川 光洋	中村 友哉	西館 泉	野崎 昭俊
日達 研一	藤村佳代子	水谷 康弘	水野 洋輔
森本 智英	山中 真仁		

\*委員長 \*\*副委員長 †光科学及び光技術調査委員長

編集局 新沢佐和美

〒112-0002 東京都文京区小石川 2-23-11 常光ビル 7F

有限会社 学術新報社

電話 03-3816-3991 Fax 03-3816-3992

E-mail: [kogaku@academic-j.co.jp](mailto:kogaku@academic-j.co.jp)